

度会カフェリョクプロジェクト

・全国まちづくりカレッジ伊勢

・伊勢茶を使用したパンのアイデア出し&試作

・COCCONポジウム

・菓子博参加(度会町&伊勢茶&宇治山田の和紅茶PR)

・茶摘み

2017

5

9

10

2

◆今年度の活動を振り返って（成果と課題）

度会カフェリョクプロジェクトは、現在二年目の活動を行っている。今年度は茶摘や製茶体験、第27回全国菓子大博覧会(菓子博)でのPR活動や、伊勢茶を使用した新商品開発に向けたアイデアシェアリング・試作等をさせて頂いた。菓子博では、訪れた人に伊勢茶を試飲して頂き、伊勢茶の魅力および度会町のまちの魅力を多くの人と共有することができ、県外からの観光客にもより伊勢茶を知って頂くことができた。しかし、認知度はまだあまり高くないのか「伊勢茶」という名前や三重県がお茶の生産量第三位であることを知らない人は多いように感じられた。「伊勢茶」のブランドイメージを高めること、情報発信の方法の改善を行うことは避けられない課題である。

また、伊勢茶を使用した商品のアイデアシェアリング・試作では、度会町にある石窯パン工房Maminkaさんに協力して頂いた。昨年度の活動で完成した伊勢茶パンの魅力を引き出すためにどのような食材が合うのか、どうすればもっと良くなるのかを考え、実際に「玉城豚を使用したキューバサンド」や「白玉あんこパン」などを試作した。何を商品化に向けて活動していくのかはまだ模索中だが、今後伊勢茶を使用した商品を形にしてPR活動に少しでも貢献できるようにしていきたいと思う。伊勢茶を使用したものを提供できるようになり、それについて説明することができるようになりつつある。これは度会カフェリョクプロジェクトが少しずつ進歩し、メンバーが伊勢茶の魅力をきちんと伝えられるように成長してきているためであると思う。来年度からも伊勢茶のPR活動に継続して取り組み、学生が自分で学び気づいていけるようにメンバー全員で頑張っていきたいと思う。



実施主体様の声

伊勢茶のPR活動に取り組むにあたり、伊勢茶に幅広く関わってほしいとの考えから生産過程の見学や伊勢茶を用いた商品開発等を実施した。今後も伊勢茶の可能性を様々な視点から発信してもらいたい。



特にアピールしたいポイント

- 伊勢茶の魅力を伝えることができるように活動していること。
- 新商品開発に携わり、アピールできる機会が増えるようにメンバー同努力していること。
- 伊勢茶の企画・開発を通して、地域貢献をしていること。



活動実施主体: 度会町役場
担当教員: 藤井 恭子(現代日本社会学部)

